

気候変動への対応についての基本的な考え方

背景

アステラスは、世界的な環境問題である気候変動およびそれによってもたらされる結果は、患者さんに貢献していくための私たちの事業の継続性に対して脅威となり得ると考えています。具体的には、気候システムの変化によって生じる極端な天候、降雨変化、伝染病の拡大、エネルギーポートフォリオの変化などがあげられます。このような影響を低減するために、事業活動由来の温室効果ガスが気候システムに対して危険な人為的影響を及ぼさないよう、温室効果ガスの排出を削減することを目標としています。

アステラスは、気候変動を低減し、また、気候変動に適応していくために、長期的で幅広い視野をもって環境に対する企業の責任を果たしていきます。

基本的な考え方

アステラスは世界の人々の健康に貢献する企業として、地球環境と調和した事業活動をしています。環境課題は企業経営の重要な要素であり、事業のすべての側面で配慮されています。

2005年に、「アステラス環境・安全衛生方針」と「アステラス環境・安全衛生ガイドライン」を制定しました。エネルギー使用効率を向上させることにより、積極的にエネルギー需要を低減し、温室効果ガスの排出を削減しています。

温室効果ガス排出削減とエネルギー使用効率向上の取り組みは、企業としての長期的な持続可能性の向上だけではなく、長期的に大きなコスト削減にもつながると考えています。

アステラスは、下記に取り組みます。

- 省エネルギー・省資源を考慮した効率性の高い機器や製造プロセスの導入および効率的な空調運転などでエネルギー効率性を改善し、温室効果ガスの排出を削減します。
- 営業車両の効率的な使用により、温室効果ガスの排出を削減します。
- 温室効果ガス排出が少ないエネルギーや再生可能エネルギーの利用を促進します。
- サプライヤーや事業パートナーによる温室効果ガス排出削減を支援するために協力します。
- ステークホルダーとの双方向のコミュニケーションに努め、適切に情報を開示し、企業の透明性を高めます。